

遺跡学研究

日本遺跡学会誌 第10号
2013

特集 1 大和の世界遺産と遺跡

特集 2 「遺跡学」とは何か

研究論文

菊地 淑人

「農業に関する文化的景観保護の脅威と将来像

ー世界遺産登録地域における国際機関と締約国の認識ー」

日本遺跡学会

ISSN 1349-4031

目 次

グラビア

平成24年度日本遺跡学会設立10周年記念大会（奈良，平成24年11月24日・25日）

	日本遺跡学会事務局	i
富士山の世界遺産登録	富士山世界文化遺産協議会事務局	ii
隠れキリシタンのふるさと五島を訪ねて	石井 則孝	iv

特集1 大和の世界遺産と遺跡

（趣旨）	青木 達司	1
（挨拶）		2
□特別講演		
世界遺産と遺跡	岡田 保良	6
世界文化遺産薬師寺について	山田 法胤	12
□報 告		
奈良県の世界遺産について	森本 理	20
世界文化遺産法隆寺について	大野 玄妙	26
世界遺産『古都奈良の文化財』について	山口 勇	32
紀伊山地の霊場と参詣道について	福井 良盟	38
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」世界遺産登録に向けた取り組み	山田 隆文	44
（討論記録）大和の世界遺産と遺跡	舘野 和己	48

特集2 「遺跡学」とは何か

（趣旨）	平澤 毅	67
日本遺跡学会の10年－設立／大会／『遺跡学研究』－	平澤 毅	68
（運営委員会座談会）日本遺跡学会の現状と課題		96
□論考－Ⅰ 「遺跡学」と文化財		
遺跡と遺跡学－意味を求めると語り－	増渕 徹	114
歴史的建造物の保護と遺跡学への期待	亀井 伸雄	118
「遺跡社会学」の可能性	山 泰幸	126
□論考－Ⅱ 「遺跡学」の声		
遺跡学と考古学－日本遺跡学会の10年をふり返って－	黒崎 直	134
遺跡学の学際的研究	田中 哲雄	138
保存科学からみた遺跡の保存・活用	澤田 正昭	150
遺跡整備を通して考える遺跡学	吉岡 泰英	158
遺跡を遺したのは誰か？我々は何を保存すべきか？	畑 宏明	162
遺跡学と文化財保護	杉原 和雄	168
「遺跡学」再考	岡村 勝行	174

研究論文

農業に関する文化的景観保護の脅威と将来像		
－世界遺産登録地域における国際機関と締約国の認識－	菊地 淑人	179

遺跡の現場から

筑波大学における世界遺産教育の現状と将来	吉田 正人	192
平泉の世界遺産登録、その前後	佐藤 嘉広	198
百舌鳥・古市古墳群の取り組み－世界文化遺産登録に向けて－	三木 弘・十河 良和	202
「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の包括的保存管理計画について	盛本 勲	206
市民公募で歴史的資産をリスト化－京都を彩る建物や庭園制度	中島 吾郎	210

学界・行政情報

第37回世界遺産委員会（ブノンペン）報告－条約採択50年に向けた新たな一歩－	菊地 淑人	216
IFLA Japan・国際ランドスケープアーキテクト連盟日本の活動	高野 文彰	224
東日本大震災における埋蔵文化財の対応		
－福島県広野町桜田Ⅳ遺跡における保存・活用事例の紹介－		
近江 俊秀・鈴木 恵・西戸 純一・長島 雄一・山本 誠・渡辺 丈彦		228
『発掘調査のてびき』の完結と埋蔵文化財保護行政	榊垣田佳男	232
平成24年度の史跡等の整備について	内田 和伸・中井 将胤・阿部 慎	236

研究余録

荒磯模した庭園、荒野のような人工磯 ～石材をめぐるこぼれ話～	大平 和弘	66
書評「入門パブリック・アーケオロジ－」松田陽・岡村勝行 著	中西裕見子	178
都市における文化財保護と建築家	前川 歩	191
石切丁場の歴史的経緯－近世初期から近代まで－	高田 祐一	243
入会のご案内／日本遺跡学会会則／大会等開催実績		244
投稿規定		248
既刊号の有料頒布について		250
広告		260
編集後記		268